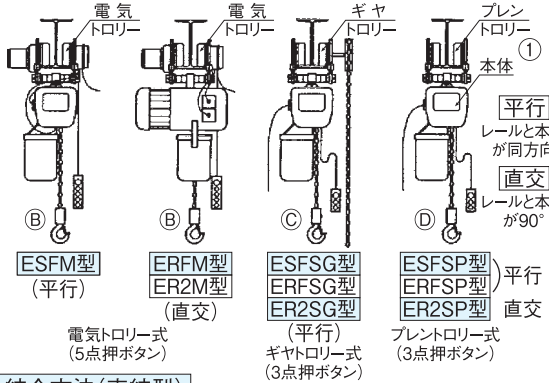


06-3 電気チェンブロックのトロリーと安全装置

電気チェンブロック本体とトロリーの取付方向(直結時)

※0.5T~5.0Tの場合で、10T以上は問い合わせてください。



結合方法(直結型)

- トロリー巾の調整(カラーの厚さ:1枚が12.5ミリですので左右なら25ミリ)
 - ①トロリー巾を走行レール巾に合わせて調整します。(ツリカナグを中央にしてカラーの枚数を左右同数にしながらフレームの外内へ移動)
 - ②調整が終わったら、調整ピンにワリピンを入れて曲げる。
 - 電気チェンブロックとの結合(直結)
 - ①ツリジグに付いたツリカナグと電気チェンブロックをツナギジグで固定します。(図1の様に取付方向に注意)
 - ②ミゾナットをしめ、ワリピンを入れて曲げる。
 - 走行レールへの取付(結合状態のまま取付)
 - ①レールの端部から結合状態のまま入れる(この方法が最も望ましい)
 - ②レールの端部から入らない時
 - ③調整ピンをツリジグの穴の遠い方(一番外側)へ移動して、トロリー巾を広げ、走行レールの下方からトロリーを押上げて、片側のクルマをレールの走行面にのせる。
 - ④もう一方のフレームを巾寄せてクルマをレールの反対側の走行面にのせる。
 - ⑤調整ピンをツリジグの元の穴に戻し、ワリピンを入れて曲げる。
- (トロリーと電気チェンブロックを別々にして取付)
- ①トロリーを走行レールに取付ける(上記の①と③を参照)
 - ②電気チェンブロックの方向に注意してトロリーと本体を結合する(図1参照)
 - ③ツナギジグを入れてミゾナットをしめ、ワリピンを入れて曲げる。

電気トロリー (200V×三相)

※100V用はありません。

トロリーの最大荷重(T)	1.0	2.0	2.8	5.0	10.0
適応する電気チェンブロック(T)	0.5・1.0	1.5・2.0	2.5・2.8	5.0	10.0
走行速度 (M/分)	20	20	20	20	10
標準品の適応するレール巾 (ミリ)	(75)・100・125	(100)・125・150	(100)・125・150	125・150・175	150・175・190
巾仕様なら最大300(但し1.0Tは200・2.0Tは250)ミリまで変更可能					
電気トロリーの型式	ESFタイプ用:MSF	ERFタイプ用:MRF	ER2タイプ用:MR2		
各部寸法 (ミリ)	d: 254 (220) [220]	258 (225) [225]	260 (225) [226]	267 (281) [281]	270 (284) [284]
	e: 168 (179) [179]	171 (184) [184]	173 (184) [185]	180 (192) [192]	169 (219) [223]
	K: 125 (130) [130]	120 (125) [125]	132 (125) [131]	145 (145) [145]	175 (175) [175]
	T: 25 (24) [25]	28 (28) [28]	31 (28) [30]	39 (39) [34]	44 (45) [44]
レール必要最低高 (ミリ)	150	150	150	175	200
出力 (KW)	0.4 (0.4) [0.4]	0.4 (0.4) [0.4]	0.75 (0.4) [0.4]	0.75 (0.75) [0.75]	0.75 (0.75) [0.75]
電流値	3.3 (3.3) [3.3]	3.3 (3.3) [3.3]	5.4 (3.3) [3.3]	5.4 (5.4) [5.4]	5.4 (5.4) [5.4]
定格起動 (A)	10.5 (14.0) [14.0]	10.5 (14.0) [14.0]	18.5 (14.0) [14.0]	18.5 (22.8) [22.8]	18.5 (22.8) [22.8]
最小旋廻半径 (M)	0.8 (0.8) [0.8]	0.8 (0.8) [0.8]	0.8 (1.0) [1.0]	2.0 (1.8) [1.8]	2.5 (2.5) [2.5]
自重 (KG)	43 (31) [32]	51 (39) [41]	61 (48) [51]	84 (69) [74]	92 (108) [106]
商品コード	00681	00682	00683	00684	00685

※2.8Tの100ミリのMRFとMR2タイプは不可です。
 ※K寸法:レール走行面からトロリーの最高部までの寸法(ぶつからない様に注意)
 ※T寸法:トロリーのクルマの厚さ(巾) ※1T吊の75巾・2T吊の100巾は不可
 ※0.5T吊の75巾・1.5T吊の100巾は可

巾広仕様 上表の標準レール巾より広くても最大300(別途料金) (1.0Tは200・2.0Tは250・2.8Tからは300)ミリまでなら変更可能です。

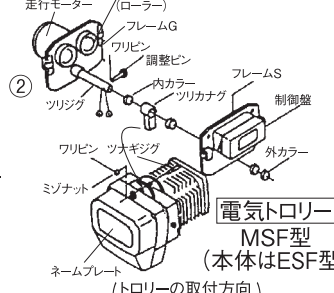
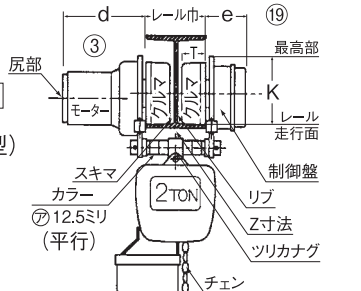
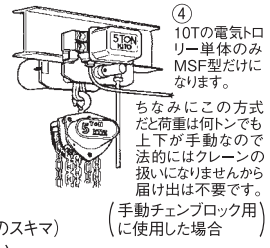


図1 (トロリーの取付方向) に注意してください ※本体のネームプレートを正面に見て走行モーターが左側にくる。



電気トロリーのみでもレンタルします(押ボタンコードは別途レンタル)が、手動チェンブロックの横移動(2点押ボタン)に使うのか、電気チェンブロックの横移動(5点押ボタン)に使うのかによりツリカナグと制御盤内部の配線を替えねばなりませんので必ず用途を知らせてください。なお手動チェンブロック用の場合は、盤の中にトランスを組み、メタコンも5点用から2点用に取り替えます。押ボタンも2点式で、割増と別途の料金が掛かります。但しMSF型のみ。

タイプ	本体	トロリー
ESFM	ESF	MSF
ERFM	ERF	MRF
ER2M	ER2	MR2

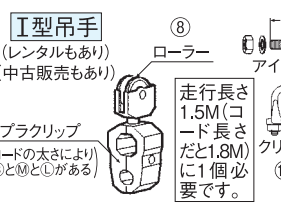


④ 10Tの電気トロリー単体のみMSF型だけにあります。ちなみにこの方式だと荷重は何トンでも上下が手動なので法的にはクレーンの扱いになりませんから届け出は不要です。(手動チェンブロック用)に使用した場合

※Z寸法(レール下面とツリカナグとのスキマ)はその都度問い合わせてください。

ケーブル吊手によるトロリーへの給電方法

① I型吊手式(ワイヤー走行式) 低価格だが、直線レール用のみで、距離も20M位までしか使えません。

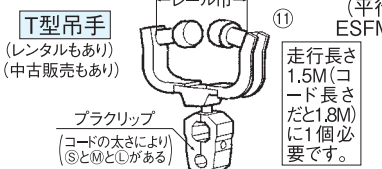


I型吊手 (レンタルもあり)(中古販売もあり)
 プラクリップ(コードの太さにより⑧と⑨と⑩がある)
 ⑧ 走行長さ1.5M(コード長さだと1.8M)に1個必要です。
 ⑨ 走行長さ1.5M(コード長さだと1.8M)に1個必要です。
 ⑩ 走行長さ1.5M(コード長さだと1.8M)に1個必要です。

別売品 (I型吊手のレンタルもいたします)
 I型吊手⑧: 2スケア×3.5スケア用
 I型吊手⑨: 5.5スケア×8スケア用
 I型吊手⑩: 5.5スケア×14スケア用
 ワイヤー6ミリ: 走行長さ+1M
 アイボルト⑬: 2本 クリップ⑬: 6個
 キャブタイヤ→[54-2]で、レンタルだと加工品なので電源コードと呼びます。

別途レンタル 電源コード: 必要長さ=走行長さ×1.2+分電盤までの距離→[54-1]
 I型吊手 分電盤・スタンド→[55]

② T型吊手式(レール走行式) 長距離(35M位まで)向きで、カーブでも使用可能です。

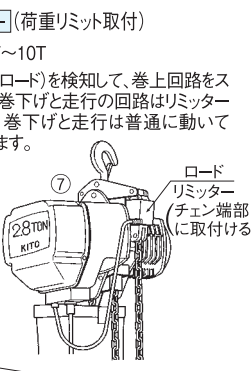


型式	T-100S	T-100M	T-100L	T-150S	T-150M	T-150L	T-175S	T-175M	T-175L	T-200W
適応レール巾 (ミリ)	75	75	75	125	125	125	175	175	175	190
コードの太さ (スケア)	3.5	8.0	14.0	3.5	8.0	14.0	3.5	8.0	14.0	(割増)

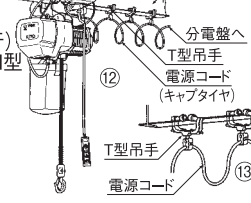
※レール巾が175ミリより広い場合はT型吊手式より②のI型吊手式をおすすめします。
 ※14スケアより太いコードやレール巾が190ミリから200ミリの場合(T-200W型)は割増料金になります。

別売品 (T型吊手のレンタルもいたします)
 T型吊手: 数は走行長さ1.5M(コード長さだと1.8M)に1個
 キャブタイヤ→[54-1]レンタルだと加工品なので電源コードと呼びます。

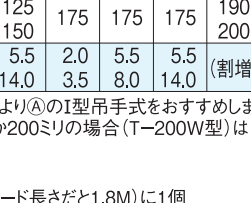
別途レンタル 電源コード: 必要長さ=走行長さ×1.2+分電盤までの距離→[54-1]
 T型吊手 分電盤・スタンド→[55]



⑦ ロードリミッター(荷重リミット取付) 割増料金 2T~10T 過荷重(オーバーロード)を検知して、巻上回路をストップします。但し巻下げと走行の回路はリミッターと関係ないので、巻下げと走行は普通に動いて(作動して)しまいます。



⑥ ロードベル(警報ブザー内蔵) 割増料金 0.49T~5T(下フックを取替) 下フックにブザーが内蔵されていて、過荷重(オーバーロード)の場合には連続音(ブー)で、定格荷重付近では断続音(ブ・ブ)で鳴り分けます。ER2タイプ用はありません。



⑤ ケーブル吊手によるトロリーへの給電方法